

[専門教育科目/看護の基本]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護過程演習	NSP23-001	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
窪川 理英 他	404	r.kubokawa	金曜日 12:00~14:00		
授業の目的・概要	看護行為は、看護過程により成立している。看護過程演習において対象者への看護行為がどのような過程を経て行われるのかを学び、印刷教材や同時双方向型授業によって演習を通し、事例の看護過程を複数回の課題学習とおして学ぶ。初めての看護過程を考えるにあたり、Vヘンダーソンの「護の基本となるもの」を活用し看護計画を立案し実施までを学びレポートとしてまとめる。				
学習上の助言	演習にあたり専門教育関連科目での知識が必須となるので復習して臨むこと。看護過程演習で学んだことは基礎看護学実習Ⅱで実際の対象者に実施するためしっかりと取り組んでもらいたい。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・看護の基本となるもの/著Vヘンダーソン/日本看護協会出版会/ (2018) ・ヘンダーソン看護論と看護実践への応用/編：金子道子/照林社/ (2019) ・系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ/医学書院/ (2019) [3冊指定] 				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護過程演習を行うことにより看護の過程を述べることができる		NS(3)		
②	Vヘンダーソンの基本的看護の構成要素にそって看護過程が展開できる		HSU(1)(2)(3)、NS(3)		
③	既習の知識を活用し事例の看護問題を考えることができる		HSU(2)、NS(4)		
④	看護過程の各要素に沿った記録ができる		NS(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	看護過程の概要を学び、看護過程の基礎知識である問題解決方法とクリティカルシンキングおよびリフレクションを学習する。フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：個々に返答実施	印刷教材等での授業	課題① 問題解決方法の理解とクリティカルシンキングの活用 課題② リフレクション方法の理解	12	
2					
3					
4					
5					
6					
7	常在条件と病理的状态の学習 フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：個々に返答実施	印刷教材等での授業	課題：症例理解に必要な項目についての学習	6	
8					
9					
10	Vヘンダーソンの看護の基本となるものを学び、14の項目ごとの視点とアセスメントについて学習する。フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：個々に返答実施	印刷教材等での授業	課題：基本的看護の構成要素である14項目についての知識構造を観察項目で調べる	4	
11					
12	看護問題の明確化と看護計画について学習する フィードバック：課題返却で実施 意見交換の機会：個々に返答実施	印刷教材等での授業	課題①看護問題がどのような基本的看護の構成要素に影響しているか。課題②看護計画立案	4	
13					
14	看護の実施と記録方法と修正について学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	課題：SOAP記録の理解	1	
15	看護診断について学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	課題：看護診断と看護過程の違い	1	
試	定期試験：達成度評価、評価のポイント参照				

[専門教育科目/看護の基本]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	60	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	40	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	0	20
		0	0	10	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	看護過程展開に必要な思考過程についての課題に取り組み、常にクリティカルシンキングを活用する事				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①	✓	看護過程展開に必要な最小限の知識と思考過程の確認				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
担当教員：◎窪川理英、平尾眞智子、中溝道子、溝口孝美、久島萌							
遠隔授業は Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバス変更を検討。その際は、学生にいち早く提示します。							
教員の実務経験： この科目は、担当教員の20年に及ぶ臨床での経験を元にして、授業に今までの看護現場での移り変わりを組み入れることで、今後の臨床現場で必要とされる知識の習得を目指す。 実践的授業の内容： 実務経験のある教員の指導のもと、患者の理解と看護の展開方法について理解を深める。事例を取り上げ、教科書に順次しながら学習する。							